

「安中市新庁舎建設基本計画」策定のための意見募集（パブリックコメント）手続の結果について

1 意見等の募集期間：令和4年9月5日（月）から同月30日（金）まで

2 意見等の受付件数／人数：件数 計43件（うち電子メール16件、郵送5件、ファックス13件、持参9件）／人数 32人

※そのほかパブリックコメントの提出要件を満たしていないご意見（住所、氏名等の記載がないもの、募集期間後に提出があったもの）が4件ありました。

3 意見等の概要及び当該意見等に対する市の考え方

受付順	ご提出いただいた意見等の概要	市の考え方	対応
1	<p>安中市役所の新庁舎建設について</p> <p>スリム化コンパクト化 SDGs などの提案、また、合併特例債の活用など、様々な意見提案がありますが、そもそも現市役所は最高の立地にあり、これ以上の場所はありません。その地を捨てて、交通渋滞が予想される囲まれ地で不便な安高跡地に何故移転するのか。しかも、現在の市役所跡地に「賑わいを創出する」そうですが、市民の共有財産である市役所跡地をショッピングモールに、道の駅に、という安易な発想が、とても悲しいです。良識も知性もある市民の声に耳を貸さずに、安中市史上最大の愚策を遂行するのが、「現実的な判断」で、そういう「市長にお仕えすることが」市の職員のお仕事なんではないでしょうか？</p>	<p>現在の本庁舎の立地につきましては、西毛広域幹線道路の開通により交通量の増加が予想されます。このことを活かして賑わいの創出につながるような施設として再整備を検討してまいりたいと考えております。</p> <p>具体的な現在の本庁舎の跡地の利活用方法につきましては、一案としてショッピングモールなどの商業施設を誘致することも考えられますが、道の駅とする考えはありません。</p> <p>いずれにしましても、現時点において特定の考えに縛られることなく、市民の皆様のご意見や各種団体、企業のニーズなどを伺いながら、検討を進めてまいります。</p>	<p>原案どおり</p>
2	<p>2013年、NHKの大河ドラマ「八重の桜」放送後、市内は町歩きの人たちで賑わいました。特に新庁舎建設地の近くには、武家長屋、安中教会、郡役所等があり、現在も歴史ある町並みを愛するファンが訪れ観光ボランティアガイドがご案内をしています。しかし観光者が公共交通を利用する場合、路線バスとのアクセスが悪いため行動が制限され、リピーターが増えないのが実情です。また「侍マラソン」は、安中の観光をアピールする好機なのですが、参加者以外の観光者はほとんど見受けられません。その理由としては、市内に</p>	<p>本市では現在、市民の皆様の利便性や、本市ならではの地理的条件、費用対効果等により、公共交通のあり方について、目指すべき地域の姿を実現するための地域公共交通計画を策定すべく、見直しを検討しているところです。そのような中で、今回の本庁舎移転におきまして</p>	<p>貴見を参考に、基本計画素案の18ページ、31ページの記載内容を変更しました。</p>

	<p>点在している施設や観光スポットを結ぶ機能が不全なためと思われます。その解決策として、旧庁舎の敷地に市内二社の路線バスが行き交えるターミナルを設けて、タクシー、レンタカーとも合わせ交通の情報を一元化することができれば、賑わいを創出することができると考えます。JRの在来線各駅と、新幹線の安中榛名駅を結ぶことは、観光者のみならず学生や高齢者等の交通弱者の足も確保できるのです。新庁舎建設につきましては、利便性や経済性はもちろんですが、「安中の歴史ある町並み」を最大限に活かした景観を作っていただきますようお願いいたします。</p> <p>先日、NHK テレビで、世界的な建築家の隈研吾氏が安中市に視察に見えたというニュースを拝見しました。富岡庁舎のイメージを安中の庁舎にも活かせるような景観づくりへのアドバイスをお願いできれば幸いです。</p>	<p>も、来庁者の利便性のみならず、貴見のような市全体としての公共交通のあり方検討とも連携しながら、進めてまいります。</p> <p>また、新庁舎周辺の景観につきまして、最大限配慮してまいります。本市の地域活性化を見据えながら、周辺の文化施設、歴史的な観光施設、旧中山道が通る商店街、伝統的な景観を活かせるように、新庁舎周辺との連続性・回遊性に配慮した、まちづくりの核となる計画を目指してまいります。</p>	
3	<p>【『「安中市新庁舎建設基本計画（素案）」に対する意見』についての意見】</p> <p>安中市は市庁舎建設に際し、市民の意見を十分に聞いていません。①「安中市庁舎に関わる市民懇談会」では、一般の公募市民は僅かに3名のみ、②「建設基本計画策定市民会議」も一般公募委員は僅かに3名のみ。人口5万5千の市で公募委員3名では市民の意見を汲み上げるには不十分です。③「安中市役所の庁舎整備等に関する市民アンケート」は、4千人の市民を対象に送付されました。市民アンケートの結果、建設場所1位は、「現在地」、付帯事項で重視すること1位は、「防災スペースを確保」です。しかるに今回の素案では、市民アンケートで判明した市民の意向に全く応えておりません。上記3件において安中市では市民の意見が全く反映しておりません。それであれば、今回のパブリックコメントは、基本計画（素案）に対する意見募集ではなく、市庁舎建設全般に関する意見募集とすべきだと思います。本来であれば、「安中市庁舎に関わる市民懇談会」と同時期にパブリックコメントを募集すべきだったと思います。今回は、「安中市新庁舎建設基本計画（全般）」に対する意見についてのパブリックコメントとすべきです。</p>	<p>新庁舎建設の検討に当たりましては、安中市庁舎に関わる市民懇談会、基本計画策定市民会議では、学識経験等のある方以外は、市民の方に委員としてご協力いただきました。</p> <p>このような委員の皆様のご意見のほかにも、市民の代表である市議会からの要望や市民アンケート結果等を尊重しながら、新庁舎建設基本構想を改訂し、今般、基本計画素案の作成に至っております。</p> <p>新庁舎建設の精査においては住民説明会を開催し、ご説明と質疑応答をさせていただいたところですが、今回のパブリックコメントに限定せず、今後も基本計画策定に至った際には住民説明会の開催を予定するほか、引き続き市民の皆様へのご説明の場、ご意見を伺う場を設定していけるよう努めてまいります。</p>	原案どおり
4	<p>「新庁舎を活用した移住促進対策について」</p> <p>今年、松井田地区では、小学校三校と中学校二校が統合され廃校となりました。</p>	<p>本市における移住の情報提供や相談窓口として、地域創造課移住定住係を設置しておりま</p>	貴見を参考に、基本計画素案の

<p>「文教の町安中」の厳しい現実が目の前にあります。しかし、豊かな自然と歴史に育まれ都市部からのアクセスも良好な環境は、子育ての条件を十分に満たしているはずです。</p> <p>近年群馬県には、大手企業が続々と進出してきています。その理由として挙げられているのは、震度4以上の地震回数や水害の被害額が、関東一都六県で最小ということだそうです。高崎にはNTTの本社機能も移るとのことですので、当然のことながら社員とその家族には新しい住環境が必要になります。安中市はこの好機を逃すことなく、移住促進対策を強化するべきではと考えます。</p> <p>平成9年に開業した安中榛名駅と、佐久平駅の1日当たりの乗客数を比較すると安中榛名駅177人に対して、佐久平駅は2105人(2021年度)になっています。雪も少なく通勤時間も短い安中榛名駅よりも、佐久平駅が選ばれる理由を考えると、佐久市の移住交流推進課を中心に、さまざまな取り組みが成功していると感じます。</p> <ul style="list-style-type: none">・市内に移住した新幹線通勤者に年額30万円(3年間)の補助を実施・住宅を新築・購入する際の補助金を交付・令和2年11月1日以降に、県外からの移住者や二地域居住を始めた人がリモートワークを実践する場合の支援金を交付・空き家バンクへの登録の促進及び移住希望者の円滑な移住の支援を図るため、空き家の家財道具等の処分や清掃を行う所有者に対し補助金を交付・行政初、Slack(スラック)を活用した移住のオンラインサロンの開設・移住検討者滞在費の補助及び移住交流相談員による相談 等 <p>私の居住するみのりが丘でも、若い家族が佐久市に転居した例もあり残念な思いです。秋間小学校は、児童の過半数以上がみのりが丘ですが、新しく入学する児童は減少傾向です。</p> <p>このままの状態が続けば、将来的には廃校も余儀なくされると思います。</p> <p>新庁舎にはぜひ、移住の情報提供や相談窓口を開設していただきたいと願うものです。</p> <p>また、現在の本庁舎の新庁舎部分は解体せずに、賑わいを創出できる施設の整備が提案されているようですが、物販やイベントでは一過性の集客効果しかありません。市民参加型の仕組みを作り、広い意味での賑わいを考えるべきです。市民ギャラリー、カフェ、オ</p>	<p>す。主な業務としましては、安中市移住定住応援サイト「あんなか日和」の運用、新幹線地域加算などのある安中市住まいりー奨励金、移住支援金制度のほか、オンライン移住相談、お試し移住事業などを行っております。また、空き家バンク事業、住宅リフォーム補助事業、子育て支援、創業・就業支援、就農支援などを、移住希望者のニーズに合わせて、様々な部署と連携しながら進めております。成功事例としてご紹介いただいた佐久市の取組や貴見を含め、全国の様々な取組を参考にしながら、安中に住んでみたい、子育てをしてみたいと、若い世代にも訴求できるよう、本市の移住促進施策の磨き上げを行ってまいります。</p> <p>現在の本庁舎の跡地の利活用方法につきましては、貴見のような市民参加型の仕組み等を参考とするほか、市民の皆様のご意見や各種団体、企業のニーズなどを伺いながら、広い意味での賑わい創出につながるよう検討を進めてまいります。</p>	<p>37 ページの記載内容を変更しました。</p>
--	--	----------------------------

	<p>オープンガーデン等、市民のみならず来訪者とも交流できる場を提供できれば、市のイメージアップと共に移住促進にもつながるものと思います。また、市営住宅や廃校等を活用した、宿泊型の移住体験事業も有効です。</p> <p>安中に住んでみたい、子育てをしてみたいと、若い世代にも訴求できるような移住促進対策を進めていただければ幸いです。</p>		
5	<p>安中市役所庁舎移転後の跡地の活用について</p> <p>建設基本構想の最後に新庁舎部分は解体せず今後も活用し敷地内に賑わいを創出できる施設の整備を図るとあります。この賑わいとは商業施設を指すのでしょうか？人口が減りつつある安中市に新しく商業施設は必要ではないと思います。跡地は市民が憩える公園にして残した新庁舎を美術館及び市民ギャラリー等文化施設にして安中市のグレードアップを図ってみてはいかがでしょうか？安中市にはたくさんの美術家がいらっしゃいます。その方たちにもっと活躍の場が広がれば自然豊かな環境に恵まれた安中市の魅力をさらに引き上げることになると思います。</p> <p>具体的には現在の市庁舎の跡地はイチョウやカエデ等新緑、紅葉が楽しめる夏の木陰、冬は陽だまりが楽しめる樹木を植栽し、間にベンチを配します。また市民参加型のおもてなしガーデンを作り花好きのボランティアを募れば市民の交流も高まります！また広場を利用したマルシェの開催も市民のみならず近隣の方々との交流の場にもなるでしょう。賑わいとはこういった事ではないのでしょうか？また、広場にしておけば災害などがあった場合の仮設住宅も設置できるでしょう。</p> <p>魅力的な安中市を目指して知名度アップを図りより多くの移住者が増える事を願います！最後に空いた市営住宅が目につきます。就農希望者や創作等を目指す若者達に貸し出して芸術村のようなコミュニティが出来るのも楽しいかと思います。そのためには入居条件などの市の規定を少し緩める必要があるのではないのでしょうか？</p>	<p>現在の本庁舎の立地につきましては、西毛広域幹線道路の開通により交通量の増加が予想されます。このことを活かして賑わいの創出につながるような施設として再整備を検討してまいりたいと考えております。</p> <p>具体的な現在の本庁舎の跡地の利活用方法につきましては、一案として商業施設を誘致することも考えられますが、現時点において特定の考えに縛られていることはありません。貴見のような公園広場・市民参加型のガーデン、文化活動の場とする方法も含めて市民の皆様のご意見や各種団体、企業のニーズなどを伺いながら、安中市の魅力向上や移住者の増加につながるような整備ができるよう検討を進めてまいります。</p> <p>市営住宅の空室につきましては、本市も課題であると認識しております。貴見を含め様々な視点から情報収集を行い、現状を考察しながら、解決方法を検討してまいります。</p>	<p>貴見を参考に、基本計画素案の37ページの記載内容を変更しました。</p>
6	<p>【5. 建設場所と建設規模（1）新庁舎の建設場所についての意見】</p> <p>新庁舎の建設場所は、安高跡地になっているが、体育館と格技場を残すと、新庁舎を建設する敷地面積は、12700㎡になる。これは、現在地の敷地面積14000㎡よりも1300㎡も狭い。これでは、精査報告書の比較表にあるような駐車場の拡大化は不可能、</p>	<p>現在の本庁舎の場所の敷地面積につきましては、貴見との比較条件を揃えるため消費生活センター敷地部分を除きますと約12,300㎡であるほか、当該面積には新庁舎への移転を想定</p>	<p>原案どおり</p>

市民の要望が多かった防災スペースも不可能です。北側のテニスコートを駐車場にして補うという意見もありますが、スポーツを通じたまちづくりのためにはテニスコートは残すべきです。そうすると、市役所を安高跡地に移転するメリットが全く見えません。市役所は、敷地面積が広い現在地に建設したほうが色々なメリットがあります。安高跡地は、校庭をまちなか広場として整備すれば、災害時の一時避難スペース、炊き出しスペース、緊急車両スペース、ドクターヘリの発着、仮設住宅スペース等に使えます。平時には、市民交流スペース、イベントスペース、お祭り広場などに使えて安中市のまちづくりの核になり賑います。これらメリットに加え、現在地の新庁舎を活用すれば、新たに建設する庁舎の床面積を減らすことが出来て総事業費を20億くらい削減できます。

以上の理由により、新庁舎建設場所は安高跡地より現在地のほうが良いと考えます。

していない西庁舎の入居団体が専用しているスペースが含まれております。また、敷地形状が整形でないことや今後の西毛広域幹線道路の整備に伴い敷地南側に新たに車両出入口を設置し駐車場数が減少する予定であること等から、有効に活用できる敷地面積としては旧安中高校跡地の方が広いと考えられます。

また、約2,940㎡ある旧安中高校跡地の北側テニスコート部分に庁用車等の駐車場を計画することで、更なる駐車場の確保が可能と考えておりますが、改めてテニスコートの利用実績や他の施設での代替可能性を精査し、今後確定してまいります。

本市の防災機能の強化策につきましては、貴見のような当初新庁舎建設において市で検討していた防災拠点センター機能に位置付けられる機能はコスト面と実用面での専門家等のご意見などを踏まえて、災害時における優先業務の実施及び通常業務の継続、災害対策本部体制の確保など、行政機能を維持するために必要な機能設備を除き、今回整備しないことに見直しを行っております。

新庁舎建設の事業費につきましては、近年の建設物価の上昇などの状況を見極めながら随時精査する必要がありますが、現時点におきましては、旧安中高校跡地と現在地とでは、合併特例債の活用を目指すことができる旧安中高校跡地で新庁舎を建設する場合の方が、実質負担額を抑えることができると考えております。

7	<p>【5. 建設場所と建設規模（3）新庁舎の建設規模についての意見】</p> <p>庁舎の建設規模①延床面積について素案の25頁では、「8000㎡以下を目指すこととした」と書いてあります。安中市の人口推移予測から考えると、これでは規模が大きすぎます。</p> <p>安中市の人口は、合併した2006年には、63000人でした。2020年には、55675人（-12%）、2030年には、49417人（-22%）、2040年には、42773人（-33%）と予測しています。（市が用意した市民懇談会資料に記載された値）現在の市役所の、新庁舎、旧庁舎、中庁舎、保健センター、西庁舎を合計した延床面積は、約7400㎡です。人口推移は、2006年基準で現時点で12%以上減少しています。職員数は人口推移にほぼ比例して配置すると考えると延床面積は、現状より10%減らすことを目標にするのが妥当と考えられます。【新庁舎の延床面積目標値＝7400×0.9＝6660㎡】新庁舎の延床面積の基準は7200㎡ではなく6660㎡を基準とすべきです。</p> <p>①8000㎡を7200㎡に縮小すると、建設費の削減額は、約4.4億円</p> <p>②8000㎡を6660㎡に縮小すれば、建設費の削減額は、約7.37億円</p> <p>②で、延床面積8000㎡の場合の総事業費、54.2億円を46.83億円で圧縮できます。</p> <p>以上の理由により、新庁舎の延床面積は、6660㎡を目指すべきであると考えます。</p>	<p>本市においても貴見のとおり人口は減少し続けておりますが、同様の減少率を用いて、一概に延べ床面積の削減目標を定めることは困難であり、現に現在の本庁舎全体の延べ床面積には余裕がないものと考えております。</p> <p>また、本市の職員数につきましては、県からの権限の移譲などによる業務量の増加に伴う、職員全体の時間外勤務や定数外の非常勤職員の数も増加で推移しております。</p> <p>そのような中において、新庁舎建設においては、既存庁舎を活用した新庁舎に配置する部局の精査、資料の電子化やペーパーレス化、集密書架の活用など執務スペースの効率化等により、延べ床面積を7,200㎡まで圧縮することを基準としてまいりたいと考えております。</p>	原案どおり
8	<p>新市長は、新市庁舎について精査すると言って選挙に出馬し、現職に大差で当選しました。ところが精査の内容は、前市長の立案したものの焼き直しです。これでは何で投票したのかという人も多いです。私もその一人です。特に旧松井田町の人たちの思いは、理解できます。市政に対して、ネガティブな気持ちを持って仕方がないでしょう。</p> <p>安校跡地に新市庁舎を建設することは、円安が続く限り建設費は増えていき、工期も合併特例債の期限に間に合うかどうか。</p> <p>やはりここは仕切り直しをして、特例債は使わず、今使える資金で作るにはどうしたらいいかということ、冷静に考えるべきだと思います。ぜひ、新市長の英断をお願いします。また、現市庁舎・土地を民間に売り払うことは、絶対反対です。それともイオンあたりと話ができているのですか？と思っちゃいます</p>	<p>これまでの市民の皆様等のご意見や、選挙公約である「市役所新庁舎建設問題の精査」の結果を踏まえ、旧来の防災拠点センターや市民活動・多世代交流スペースの整備を盛り込んだ基本構想を改訂した上で、今般の基本計画素案を作成しております。</p> <p>合併特例債の活用につきましては、精査の結果、可能な限り本市の財政負担の軽減を図るために、引き続き活用を目指してまいります。</p> <p>また、現在の本庁舎の跡地の利活用方法につ</p>	原案どおり

		<p>きましては、市民の皆様のご意見や各種団体、企業のニーズなどを伺いながら、広い意味での賑わい創出につながるよう検討を進めてまいります。</p>	
9	<p>【3. 新庁舎建設基本構想の概要（1）－2 課題①耐震性について】</p> <p>素案の7頁に旧庁舎及び中庁舎の耐震性の記述があり、平成18年度に耐震診断を実施し、旧庁舎はDランクで「耐震性能は非常に低く大規模な改修が必要」という判定結果が出ています。他の自治体の例では、Dランクと判定されれば即座に対策検討に入り速やかに仮設庁舎に移転しております。（耐震性能が原因で仮設庁舎に移転の例；国分寺市、習志野市、志木市など）安中市の場合は、耐震診断結果が出てから13年間も不作為が続きました。これは、倒壊や一部損壊が予測される危険な庁舎を使用して、職員や市民の人命を軽視した全く無責任な思考としか思えません。耐震診断から13年も経てば、建物の劣化は進行性があり新たな耐震診断も必要です。しかるに、今回の市庁舎建設に際しても仮設庁舎は使用しないで、この先5年間も危険な庁舎で業務を継続しようという。危機管理課や市長室までDランクの庁舎にあります。人命軽視で安全無視、危機管理の全くできていない市の考え方、体質に疑問を呈します。安高跡地に移転する計画であっても仮設庁舎移転は人命尊重と危機管理のため必要ですので実施して下さい。</p>	<p>貴見のとおり現在の本庁舎のうち、旧庁舎及び中庁舎は耐震性が低く、危険な状態であると認識しておりますが、新庁舎の完成は令和8年3月末を予定し残り3年半程度と目前に控えております。</p> <p>そのため、仮設庁舎の整備にも準備や引越などに一定期間を要することを考えると使用期間が短期間となり、また仮設庁舎の整備費用や引越費用等で5億円程度かかると試算されることから、財政負担の軽減や仮設期間中の市民の利便性の低下について考慮することも重要であると考えております。</p>	原案どおり
10	<p>【3. 新庁舎建設基本構想の概要（1）－2 課題⑤その他について】</p> <p>素案の8頁⑤その他に、以下の記述があります。</p> <p>『・現在の駐車場スペースでは、大人数での庁舎利用時の駐車に対応しきれない場合があり、災害時等での緊急車両の配置や受入れに対しても十分ではありません。』この記述に関して、素案の新庁舎建設の敷地面積と現在地を比較すると、</p> <p>安高跡地の新庁舎建設の敷地面積12700㎡</p> <p>現在地の敷地面積14000㎡</p> <p>現在地よりも1300㎡も狭い敷地面積です。上記問題を解決するためには、安高跡地への移転は適しておりません。北側のテニスコートを駐車場にすればよいという意見もあるようですが、スポーツを通じたまちづくりのためにはテニスコートは残すべきです。</p> <p>現在地よりも狭い安高跡地に移転するのではメリットを見出すことは出来ません。建設場</p>	<p>現在の本庁舎の場所の敷地面積につきましては、貴見との比較条件を揃えるため消費生活センター敷地部分を除きますと約12,300㎡であるほか、当該面積には新庁舎への移転を想定していない西庁舎の入居団体が専用しているスペースが含まれております。また、敷地形状が整形でないことや今後の西毛広域幹線道路の整備に伴い敷地南側に新たに車両出入口を設置し駐車場数が減少する予定であることから、有効に活用できる敷地面積としては旧安中高校跡地の方が広いと考えられます。</p>	原案どおり

	<p>所を安高跡地に決定した過程で正しく精査されていたのか、もう一度再精査を行うべきだと思います。</p>	<p>また、約 2,940 m²ある旧安中高校跡地の北側テニスコート部分に庁用車等の駐車場を計画することで、更なる駐車場の確保が可能と考えておりますが、改めてテニスコートの利用実績や他の施設での代替可能性を精査し、今後確定してまいります。</p>	
11	<p>【3. 新庁舎建設基本構想の概要 (2) 新庁舎建設における方向性 について】 素案の9頁(2) 新庁舎建設における方向性 に、以下の記述があります。 『これら市民の声等を尊重し、市における精査を踏まえた結果、機能的でありながらも、可能な限り建設費を抑えられるシンプルでコンパクトな建設規模や構造を採用し、将来の財政負担を減らすことを最優先としつつ、環境に配慮し、既存庁舎も活かした、新しいまちづくりの核となる新庁舎の建設を目指します。』 ここで「可能な限り建設費を抑えられる」とありますが、「市役所新庁舎建設問題の精査に関する報告書」の10、11ページの新庁舎建設事業費の試算の表で比較してみると、建設費が抑えられる構想は、⑩旧安高の49.8億円よりも⑰～⑳の現在地のほうが抑えられています。これでは、「可能な限り建設費を抑えられる」というのは事実と反することになるかと思えます。可能な限り建設費を抑えたいのが事実であれば、⑰～⑳の何れかのように入建設場所は現在地となるはずでず。⑩旧安高49.8億円と⑳現在地25.7億円の差額は、24.1億円もあります。可能な限り建設費を抑えられる条件での基本計画の建設場所見直しをお願いいたします。 (補足意見；現在地に建設であれば、総事業費は合併特例債を起債しなくても可能な範囲と考えられるので、合併特例債に間に合わないは、現在地を除外する理由にはなりません。)</p>	<p>市の将来の財政負担の軽減を検討する上では、新庁舎建設にかかる市の実質負担額にて、検討することが重要であると認識しております。その上で、建設場所としての現在地と旧安中高校跡地とのメリット、デメリットを様々な観点から比較検討してまいりましたが、市の将来の財政負担としては、有利な財政措置のある合併特例債の活用が目指せる旧安中高校跡地にて建設することで、現在地よりも市の将来の財政負担を軽減できる可能性があると考えております。</p>	原案どおり
12	<p>基本構想について、以前の住民アンケートでは、現在地のままで中庁舎の建て替え、補修でよいとの意見が多かったと思いましたが、防災対策の拠点が必要との意見を取り上げ、安中高校跡地に移転する方向で進んでおります。跡地の周辺を考えたら、移転をせずに現在の市役所で中庁舎などの補修で十分と思えます。 総事業費についても、移転せず現在の市役所を活用することで、総事業費を低く抑えることが出来ると思えます。</p>	<p>現在の旧庁舎、中庁舎は、耐震診断の結果によれば、大地震が来たときには機能しなくなる可能性が高く、来庁者、職員の安全確保のために早急な対応が必要となります。仮に耐震補強する場合の改修費用は、資材の高騰等を考慮すると3億円以上の見込みとなり、その他仮設庁</p>	原案どおり

<p>少子化が進む今、新庁舎建設工事に多くの税金を使うより子供たちの教育や若い世代に還元することが、特に今必要と考えております。</p> <p>安中高校跡地の利用は防災対策、設備の拠点とすることや地域の人々が憩える場所、交流の場として緑地公園などにしてほしいです。</p> <p>※庁舎建設と直接関係がないのですが市役所周辺の活性化にも目を向けて商店への助成、空き家を活用することも考えてほしいです。</p>	<p>舎に係る費用や2回の引越し経費を含めると、総額で8億円を超える試算となりましたが、コンクリートの経年劣化や設備の老朽化を踏まえると、いずれにしても遅かれ早かれ取り壊し、建て替えることとなります。</p> <p>住民アンケート調査の結果からすると、現在の旧庁舎・中庁舎の耐震補強は全体の3.9%、現在地での建替えが全体の43.4%(1位)、旧安中高校跡地での建替えが全体の40.5%(2位)という結果で、旧庁舎・中庁舎は耐震補強ではなく建て替えるのが良いとする回答が圧倒的多数となりました。</p> <p>このことなどから、旧庁舎、中庁舎を耐震補強するよりも費用対効果でのメリットが大きいと判断でき、市民の皆様からもご理解の声を多く得られたと考え、新庁舎を建設することとしました。そのような中で、有利な財政措置のある合併特例債の活用が目指せる旧安中高校跡地にて建設することで、現在地よりも市の実質負担額を軽減することが可能と考えております。</p> <p>貴見のような公園整備等につきましては、現在地で検討する市の賑わいの創出のための整備の中で検討します。</p> <p>また、子ども教育や若い世代、商店への助成、空き家の活用に関する施策についても、引き続き実施し、検討してまいります。</p>	
--	---	--

13	<p>【3. 新庁舎建設基本構想の概要 (2) 新庁舎建設における方向性④既存庁舎を活かした新しいまちづくりの核となる庁舎 について】</p> <p>素案の12頁④既存庁舎を活かした新しいまちづくりの核となる庁舎</p> <p>(2) 新庁舎建設における方向性に、以下の記述があります。</p> <p>『既存庁舎を活かした』と見出しにあります、現在地の新庁舎(平成13年竣工)は庁舎として活かしてないではないか? 公的文書で市民を欺くような表現はやめていただきたい。『まちづくりの核となる庁舎』とありますが、市庁舎がまちづくりの核となると考えるのはおかしいと思います。お役所城下町の発想ではまちづくりに発展性はありません。まちづくりの核になるのは、例えば文化センターやまちなか広場など、市民が主体で地域の文化や伝統を継承するよりどころとなる施設がまちづくりの核として相応しいと思います。安高跡地は、市役所ではなく、まちなか広場や文化施設として再生してまちづくりの核にしていきたい。</p> <p>(まちづくり効果の実際; 安中祭りの今年度の配置図と令和8年度の配置図を比較すれば、市役所の位置により、どちらが生き生きとしたまちづくりに適しているかが判るでしょう。)</p>	<p>現在地の既存の新庁舎部分の活用を検討しております。既存の新庁舎を活かしながら、現在地にてまとまった敷地を確保することで、西毛広幹道の開通にともなう交通量の増加を見越し近隣商業施設との相乗効果を図った商業施設のモール化や公園、文化活動の場、市民参加型のイベント広場として整備を行うなど、現庁舎周辺の賑わいの創出を検討することが可能となるほか、商業施設のモール化等を行う場合には、現在地の売却や貸し付けにより、収入の確保を図ることも期待ができるものと考えております。</p> <p>「まちづくりの核となる庁舎」につきましては、建設場所である旧安中高校跡地は西毛広域幹線道路の近くに位置しながら、北東側には安中市文化センター・図書館等の文化施設が位置する文化交流エリア、東側には安中城跡地や旧安中藩武家長屋・旧碓氷郡役所などの歴史的な施設が集まる歴史観光エリア、南側には旧中山道が通る商店街エリアが位置し、伝統的な景観も見られます。このような立地を活かして、本市の地域活性化を見据え、全体への連続性・回遊性に配慮することなどから、「まちづくりの核となる庁舎」を目指してまいります。</p>	原案どおり
14	<p>人は城 人は石垣 人は堀 情けは味方 あだは敵なり</p> <p>立派で豪華な市役所が有っても、そこで働く人の力がないと何の役に立たない。市を支える一番の力は人の力であり、信頼できる市執行部・議員・職員の集まりは 強固な城に匹敵する。</p>	<p>現在の本庁舎の場所の敷地面積につきましては、貴見との比較条件を揃えるため消費生活センター敷地部分を除きますと約12,300㎡であるほか、当該面積には新庁舎への移転を想定</p>	原案どおり

	<p>今の安中市にそれが言えるだろうか？ まずは新庁舎よりも現在地に最低限の震災対応の庁舎を造り、市民のために真摯に働くよう職員の刷新を計るべきだろう！</p> <p>安中高校跡地は体育館と格技場を差し引けば現在地よりも2000㎡も少ない約12000㎡、今よりも手狭になり、かつ南側に新庁舎を造れば日当たりの悪い箇所が出来て有効利用がしづらくなる。</p> <p>さらに体育館と格技場が避難所となれば災害時に避難した人たちと、防災本部となるであろう市庁舎がごった返して災害時対応が上手く出来ない恐れがある！</p>	<p>していない西庁舎の入居団体が専用しているスペースが含まれております。また、敷地形状が整形でないことや今後の西毛広域幹線道路の整備に伴い敷地南側に新たに車両出入口を設置し駐車場数が減少する予定であること等から、有効に活用できる敷地面積としては旧安中高校跡地の方が広いと考えられます。</p> <p>日当たりは、旧安中高校跡地の敷地南側を建物とすることで、道路幅のある北側を駐車場として有効活用できながら、敷地周辺道路等への日当たりの影響を少なくすることができると考えております。</p> <p>体育館と格技場は、災害時には引き続き避難所として活用する予定ですが、新庁舎を別棟とすることで避難所との区分を明確化し、住民への周知徹底を図るとともに、避難所開設の際には避難者の動線を確保するなど、貴見のような混乱が生じないように努力してまいります。</p>	
15	<p>安中市新庁舎建設基本計画（素案）12頁「方向性④既存庁舎を活かしたまちづくりの核となる庁舎」</p> <p>機能・現在の本庁舎は今後前面に西毛広域幹線道路が整備される予定で、交通量が増えることと予想されるため、集客施設の立地として相応しい場所になります。建物の一部を引き続き活用し、近隣商業施設との相乗効果を図った、商業施設のモール化など、敷地内に賑わいを創出できる施設としての整備を図ります。</p> <p>以上の素案は全く安中・高崎市内の商業施設の現状を理解していない素人の考えです。確かに西毛広域幹線道路が整備されれば現市庁舎の東側道路の交通量の増加は予測できるが、西毛広域幹線道路の高崎側は高崎イオンに直結するルートになっている。さらに、最</p>	<p>具体的な現在の本庁舎の跡地の利活用方法につきましては、一案として商業施設を誘致することも考えられますが、現時点において特定の考えに縛られていることはありません。市民の皆様のご意見や各種団体、企業のニーズなどを伺いながら、安中市の魅力向上や移住者の増加につながるような整備ができるよう検討を進めてまいります。</p>	原案どおり

	<p>近まで国道 18 号の岩井交差点にあったユニクロは撤退して高崎環状線沿線に新店舗を開店している。この道路は富岡～安中方面の市民が高崎の中心地を通過せずに高崎北西～東部に短時間で移動できるメリットがあるものの、買い物客の目線では、高崎郊外の店舗に行きやすい道路であって、現市庁舎程度の面積では高崎イオンモールの規模に全く太刀打ちできません。西毛広域幹線道路が全線開通に併せて、現市庁舎跡地に商業施設のモールを作ってもこの道路を介して高崎・安中・富岡で客の奪い合いになります。要するに安中市は西毛広域幹線道路の集客機能を過度に期待しすぎている。現市庁舎跡地が”塩漬け用地”にならないことを祈ります。西毛広域幹線道路建設は朝夕の国道 18 号線の渋滞緩和に対しては効果的だが、高崎環状線を含め、いわゆる国が目指している”コンパクトなまちづくり”に対しては住宅、商業施設のスプロール現象（拡散）が加速するという一方で、将来的には逆効果な公共投資と言える。</p>		
16	<ul style="list-style-type: none"> ・松井田町と安中市が合併した時の松井田庁舎の今後の使用方法 ・東電から谷津庁舎を買った時の谷津庁舎の活用の位置づけ ・平成 13 年に現新庁舎を造った時の新庁舎の活用の位置づけ <p>(この時点で既に西毛広幹道の計画は、わかっていたはず)</p> <p>この 3 点を検証してください。</p> <p>行政としての一貫性があまりにもなさすぎるように思います。</p> <p>その上での「安中市新庁舎建設基本計画（素案）ではないでしょうか？</p>	<p>市の公共施設の活用方針につきましては、計画を立てながらも、人口減少や社会構造、情勢などの不確実で大きな変化の中で、その都度、最適な方法を柔軟かつ的確に精査していくことが重要であると認識しております。</p> <p>このような状況下において、新庁舎建設基本計画では、新庁舎の建設規模や事業費の圧縮を図るために、既存庁舎の有効活用を進めてまいります。</p> <p>なお、松井田庁舎につきましては今後も支所機能を維持しながら、適切な部署配置を検討し、谷津庁舎につきましては 2 階の一部を更に執務室としての活用を検討し、現在の新庁舎につきましては西毛広域幹線道路の開通に伴う交通量の増加が見込み市の賑わいの創出のための整備等を検討するなど、今後の設計段階に併せて計画を進めてまいります。</p>	原案どおり

17	<p>市役所移転は交通が不便になるので止めてほしい。集客施設はいらない。</p>	<p>新庁舎の計画地は、前橋市・高崎市・安中市・富岡市を結び、周辺の渋滞緩和や物流の効率化、生活圏の拡大など西毛地域の産業、経済、観光の発展を担う西毛広域幹線道路の近くに位置することとなるため、市内外からのアクセスが便利になると考えております。併せて、今後の公共交通施策とも連携を図りながら、来庁者の利便性の向上に努めてまいります。</p> <p>また、現在の本庁舎の跡地の利活用方法につきましては、一案として商業施設を誘致することも考えられますが、現時点において特定の考えに縛られていることはありません。市民の皆様のご意見や各種団体、企業のニーズなどを伺いながら、安中市の魅力向上や移住者の増加につながるような整備ができるよう検討を進めてまいります。</p>	原案どおり
18	<p>【4 . 新庁舎の構成 (1) 新庁舎に配置する部局等 について】</p> <p>素案の13頁(1)新庁舎に配置する部署等に産業環境部：農林課があります。農林課は、現在は松井田庁舎に配置されています。農林課には、4つの係があり、課長以下24名の職員で構成されています。松井田庁舎では、庁舎東側の執務エリアの北半分を占有する行政機能では一番大きな課になっています。既存施設の有効活用という主旨から大変良いことだと考えられます。しかし、この素案では、農林課を新たに建設する新庁舎に配置することになっております。農林課の移転に必要な床面積は、24名の執務スペースと書類等のキャビネットや会議スペースを含めると約200㎡と推測されます。新庁舎建設の平米単価を60万円と仮定すると、これだけで、1億2千万円の建設費アップになります。</p> <p>これは、新庁舎建設における大きな方向性①『将来の財政負担の軽減が図れるシンプルでコンパクトな庁舎』や『既存庁舎を活かした云々』と矛盾することになります。</p>	<p>新庁舎への農林課の配置につきましては、執務環境調査を実施したところ、農業委員会、都市整備課と直接的な業務上の連携が多いとの結果となっておりますが、現状は庁舎が分かれているなど連携が取りづらい状況となっております。農林課を新庁舎内かつ農業委員会、都市整備課と近接して配置することにより、業務が効率化され、市民の利便性向上につながるものと考えことから、現時点では新庁舎への配置を計画しております。</p>	原案どおり

	<p>松井田庁舎を活用して、農林課を従来通りに配置すれば、延床面積を約200㎡減らすことが出来て新庁舎の延床面積は、$7200 - 200 = 7000$㎡以下で済むこととなります。ぜひ、既存庁舎の活用と将来の財政負担の軽減の両面から、農林課を従来通りの配置をお願いします。</p>		
19	<p>安中市の財政は苦しいので無駄な出費はやめ必要最小限の出費にしてください。</p>	<p>建設に当たっての事業費につきましては、建設規模の圧縮や有利な財政措置のある合併特例債の活用など、可能な限り本市の財政負担の軽減が図れるよう努めてまいります。</p>	<p>原案どおり</p>
20	<p>税金の無駄づかいは絶対にやめて欲しいです。 たとえば自宅を建て替えるときは、とても慎重に身の丈の計画をたてると思います。 新しいより良いものを…と思う気持ちはわかります。そうしたいですが優先させて欲しくありません。(人のお金だから…という気で進めてしまいがち…?) 最小の金額で、よいものを作って頂きたいと思います。 よい仕事をして頂きたいです。 たとえ決定した部分でも常に節税を念頭に変更もして欲しいと思います。</p>	<p>新庁舎建設に当たっては、庁舎機能をメインに備えたシンプルでコンパクトなもので計画しており、建設規模の圧縮や有利な財政措置のある合併特例債の活用など、可能な限り本市の財政負担の軽減が図れるよう努めてまいります。</p>	<p>原案どおり</p>
21	<p>安中高校を解体するのは本当に残念です。 (決まってしまったので仕方がないのですが)市庁舎はコンパクトな物を(人口が減るので)市民の声が市政に届いていない!! 市庁舎、大きな箱物、市民の税金がまた上がるのでは、“住みよい安中市”にはならない。</p>	<p>貴見のとおり新庁舎建設に当たっては、今後の人口減少等も踏まえ、庁舎機能をメインに備えたシンプルでコンパクトなもので計画してまいります。 また、今回のパブリックコメントのほか、引き続き市民の皆様にご意見を伺う場を設けてまいります。 なお、新庁舎建設に伴って、市税が上がるようなことはございません。</p>	<p>原案どおり</p>
22	<p>【8. 敷地利用計画 (1) 敷地の利用計画①建設計画の方針 についての意見】 ①建設計画の方針 の2項目目に『仮設庁舎にかかる費用や引越しなどの経費を節減するため、現庁舎を最大限利用しながら新庁舎の建設を進めます。』と書かれています。 これは、新庁舎が完成して入居する令和8年まで、現在の庁舎で業務を継続するというこ</p>	<p>貴見のとおり現在の本庁舎のうち、旧庁舎及び中庁舎は耐震性が低く、危険な状態にあると認識しておりますが、新庁舎の完成は令和8年3月末を予定し残り3年半程度と目前に控え</p>	<p>原案どおり</p>

	<p>とを意味しています。耐震性ランクDの危険な庁舎で業務を継続するのは、中で勤務する職員や来訪する市民の安全を考えない間違っただけの方針ではないでしょうか？</p> <p>他の自治体の例では、耐震診断で危険なD判定が出れば、即座に対策を検討し速やかに仮設庁舎に移動しております。仮設庁舎費用や引越し費用を惜しんで、人命や安全を顧みない方針には疑問を感じさせられます。人命や安全に関わる費用を節減しようとする市の根本的な意識・姿勢が問われています。人命や安全を無視した仮設庁舎不利用が利点とみなされているのも疑問です。この先5年も旧庁舎や中庁舎で業務を継続させるならば、絶対安全であるという科学的なデータを示すべきです。不測の事態が発生して死傷者が出たらいったい誰が責任を取るのでしょうか？他の自治体を見習い、最も危険な旧庁舎内の部署は、速やかに仮設庁舎に移転することを考えて下さい。既存の市有施設を仮設庁舎にすれば費用はそれほどかからないはずで、建物倒壊や損壊で死傷者が出てからでは間に合いませんので仮設庁舎への速やかな移転をお願いします。</p>	<p>しております。</p> <p>そのため、仮設庁舎の整備にも準備や引越などに一定期間を要することを考えると使用期間が短期間となり、また仮設庁舎の整備費用や引越費用等で5億円程度かかると試算されることから、財政負担の軽減や仮設期間中の市民の利便性の低下について考慮することも重要であると考えております。</p>	
23	<p>基本計画素案では松井田庁舎には教育委員会だけ残して農林課も観光経済課も安中に配置され松井田庁舎は支所機能だけになるように読める。</p> <p>行政機能を一極集中させるような案だから建設面積が大きくなってしまふのだ！ 分散化、現庁舎の有効利用で新庁舎の建設面積を抑え、経費を抑えるべきだろう！ 金も人材も無い安中市に大きな新庁舎は不必要だと思う！ そんな金が有るなら地域活性化対策、高齢化対策、少子化対策に使うべきだろう！</p>	<p>新庁舎への部署配置につきましては、将来を見据えた部局等の配置における柔軟性、セキュリティ対策、まちづくりへの波及効果、建設コストの縮減など、様々な観点から検討した結果として、現時点において計画したものです。また、既存庁舎を活かしながら庁舎機能を充実させ、市民の利便性の更なる向上及び効率的な行政運営の維持を目指しております。</p>	原案どおり
24	<p>【11. 新庁舎建設後における他庁舎等の活用（1）谷津庁舎・松井田庁舎の利活用についての意見】</p> <p>素案37頁（1）に『谷津庁舎については、1階は現状と同じく上下水道部の配置を原則とします。現在、倉庫等となっている2階の一部については執務室として活用し、新庁舎の建築規模の圧縮を図ります』と書かれています。既存施設を利用して新庁舎の延床面積を減らして建設費を節減するのはたいへん良いことだと思います。</p> <p>しかし、＜検討の一例＞には、「谷津庁舎2階に産業環境部観光経済課を配置」と書かれています。現在、観光経済課は松井田庁舎に配置されていますので、これでは、既存施設</p>	<p>基本計画素案に記載のとおり、谷津庁舎2階への観光経済課の配置につきましては、検討の一例としておりますが、新庁舎への配置とせず谷津庁舎への配置とすることで、新庁舎の建築規模の圧縮が図れるものと考えております。</p> <p>なお、基本計画素案に記載のとおり、谷津庁舎2階に配置する部署につきましては、具体的には執務環境調査における近接度調査や配置</p>	原案どおり

	<p>間の移動になり他庁舎等（松井田庁舎）の有効活用にはなりません。新庁舎の建築規模の圧縮を図ることにもなりません。新庁舎の建築規模の圧縮を図ることを目的にするのであれば、現在の本庁内に配置されている部署を谷津庁舎2階に配置すべきです。例えば、建設部:土木課、都市整備課、建築住宅課などの配置が水道事業にも関連していて適していると考えられます。これら部署の谷津庁舎配置により新庁舎の延床面積は、7200㎡よりもさらに減らすことが可能になります。</p> <p>以上のように、新庁舎の規模圧縮のために行う谷津庁舎の活用は、松井田庁舎からの移動ではなく、本庁内の部門が移動することが必須です。その方向でご検討をお願いいたします。</p>	<p>可能面積等を考慮し、今後の設計段階で検討してまいります。</p> <p>松井田庁舎に空きスペースが生じた際は、子育て支援や市民活動に活用できる施設の整備、テレワーク、サテライトオフィスの誘致等を検討し、松井田地域や周辺商店街の活性化を図ってまいります。</p>	
25	<p>新庁舎で全ての書類等が出来る様に。 駐車場を止め易くして下さい。</p>	<p>新庁舎の建設に当たっては、既存庁舎を活かしながら、来庁者の方が手続きしやすいよう行政サービス窓口の利便性の向上や効率的な行政運営の維持を目指してまいります。</p> <p>駐車場は、災害時の対応を含めた十分な広さを想定し、市民が利用する部署・窓口までの動線をわかりやすいものとし、周辺道路への出入りもしやすいような工夫を検討します。また、車椅子利用者や妊産婦、障がい者用の駐車場は、庁舎から出入りしやすい位置に適正な台数分を用意し、雨天時などの利用にも配慮してまいります。</p>	原案どおり
26	<p>◎市庁舎内に「市民サロン」のようなものをつくって欲しい。 例えば</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ピアノを設置して誰でも弾けるようにする ②市民カフェのようなサロン。誰でも利用できるように ③ミニコンサートやミニギャラリーのような設備 <p>◎美術ギャラリーをつくって欲しい。</p>	<p>現時点においては、市民利用スペースや利便施設は最小限の規模とし、庁舎機能をメインに備えたシンプルでコンパクトな庁舎を計画しておりますが、平時の待合スペースや会議室、議場などを重ね使いなどにより、市民が利用可能なスペースとして有効活用することや、既存庁舎を活用し、文化交流を含め、賑わいの創出</p>	原案どおり

	<p>①安中の偉人 湯浅一郎の絵画を展示する</p> <p>②安中のキリスト教者 新島襄に関する資料展示 など</p>	<p>につながるような検討を進めてまいります。</p>	
27	<p>決定になった事は、残念ですが 分かりやすいフロアで高齢者でも利用しやすい様にして下さい。</p>	<p>高齢者支援課窓口を1階で計画するほか、高齢者のほか、障がい者、乳幼児連れの人等の歩きやすさや使いやすさも意識しながら、初めて来庁された方も迷わないよう、わかりやすいユニバーサルデザインを導入し、誰もが快適で安全に利用できる庁舎となるよう計画してまいります。</p>	<p>原案どおり</p>
28	<p>○やはり安高跡地への移転はおかしい。</p> <p>○これから先安中市役所移転後の活用については、アンケートを出すのに市民10%でなく、市民全員の意見も聴いて欲しいです。(少しながらの税金も払ってます)</p> <p>○市役所職員の方々も市民の生活も広い目で見て欲しい。 市役所職員の指導教育をしっかりとして下さい。</p> <p>○匿名希望の方がいらっしゃると思うが大切にして下さい。</p>	<p>新庁舎の建設場所の決定に当たっては、市民アンケートのほか、市民懇談会、市議会のご意見等を尊重しながら、候補場所のメリット・デメリットの比較に基づき、総合的に判断しました。</p> <p>そのような中で、新庁舎建設をきっかけとして、現庁舎が抱える課題を解決し、市民の利便性の向上につなげ、安中市全体を停滞させず新しいまちづくりが前進できることと、可能な限り財政負担の軽減を図ることのバランスがとれる場所が建設場所として相応しいと考えた結果、「旧安中高校跡地」に決定しました。</p> <p>また、これまでの市民アンケートの実施や、市民懇談会や市民会議、住民説明会の開催、今回のパブリックコメントのほか、引き続き市民の皆様にご意見を伺う場を設けてまいります。</p> <p>匿名の方などパブリックコメントの提出要件を満たしていない方のご意見は、今回掲載しておりませんが、十分に参考とさせていただきます。</p>	<p>原案どおり</p>

29	<p>安中市新庁舎建設基本計画に対する意見。もう決まってしまったので本来なら反対ですが仕方ないですね。</p> <p>安中市民有権者が約6万人近くいる中で、アンケートを行ったのが4000人と聞いています。なぜ4000人なのか？疑問です。アンケートを元に賛否で決定するさまは誰が考えてもおかしな話です。</p> <p>そのような決定は誰が行うのですか？その時立ち合った人達はおかしいと思わなかったんですか。そんな低レベルの人達が携わっているのですか？職員のレベルの問題ですね！！誰に聞いても通常の常識では考えられない事をやっています。職員の教育に力を入れて下さい。こんな安中では良くなりません。</p>	<p>ます。</p> <p>市民アンケートでは市役所庁舎の整備等に関する市民の皆様の考えを把握するために行いましたが、全ての市民の方から回答を得ることは困難である中で、全ての市民の方から回答を得た場合との誤差について、統計上、95%の信頼度（100回アンケートを実施しても95回は同じ誤差の範囲内におさまること。）において、誤差が±3%（有効回答数：約1,100件）～±5%（有効回答数：約400件）以内であれば、アンケート結果として有効とされています。この考えから、有効回答数1,100件を目標とした上で、アンケート回収率を30%程度と想定した結果、送付対象者数を4,000人とすることにしました。実際の有効回答数は、設問ごとに異なりますが、集計数の1,940件で、95%の信頼度としますと、誤差は2.2%となりますので、アンケート結果として有効であると考えられます。</p> <p>新庁舎建設は、このような住民アンケート調査の結果のほか、市民懇談会や市議会のご意見などを踏まえ、来庁者や職員の安全性などを含め、総合的に判断し決定しました。</p> <p>建設に当たっては、建設規模の圧縮や合併特例債の活用など、可能な限り本市の財政負担の軽減が図れるよう努めてまいります。</p>	原案どおり
30	<p>安中市庁舎建設に係るパブリックコメントに応募いたします。</p> <p>既に庁舎建設問題は、建設場所について今後の変更は検討される余地はなきものと思わ</p>	<p>現在の本庁舎のうち、旧庁舎及び中庁舎は耐震性が低く、危険な状態にある中で、住民アン</p>	原案どおり

れますが、現庁舎での一部建て替えを主張してきた者として今でもこの考えを変更する余地はない物の具体的に工事計画が進行していくのを何もせず傍観するには忍び難く、現実を一部受け入れて具体的な提言を致します。

岡田市政当時は、庁舎建設について旧庁舎・中庁舎とも耐震度に問題はあるが市政の優先度としての緊急性はないとの立場をとり続けました。

茂木市長は岡田市政を 180° 転換する意志を示し建設場所について安中高校跡地にすることを判断しました。市民の世論は現庁舎での建て替えが多数を占めたものの議会多数の賛成により市民の意向は否定されました。

岩井市長は市民感情を無視できなかったのか計画を精査するとの政策もあって見事な当選を果たしましたが、その後の態度は市民の期待を裏切った方向転換を図りました、特に残念だと言わざるを得ないのは建設計画に対して議会との整合性を理由第一に挙げたことです。地方自治は二元代表制を取っている、議員は市民によって選ばれているが、市長も市民の代表として選ばれている、議会の軍門に下るような意思表示は誠に残念としか言いようがありません。

庁舎建設は全部の機能を一元化することを前提に安中高校跡地を最良の選択として勧められました。議会における最大会派の議員の発言を借りれば「松井田庁舎の機能も新庁舎に一元化する、市の職員が松井田庁舎との連絡調整に費やす労働時間がもったいない、移動に使う自動車の燃料費が節約できる」に代表されるように市民の行政サービスの観点が全く欠落してきました。

行政は耐震度に問題のある旧・中庁舎の建て替えの要請に対して県条例の第一種住居指定を受けているため建設できないとの答弁に終始してきました。その後松井田庁舎機能の一部使用を判断したため、既に県条例を盾にした部分的な建て替えの否定は、見事なまでに論破されているのではないですか、更に谷津庁舎の活用もあるようですから、現庁舎での建て替えは客観的な道理にかなっています。ここまでは私のどこまで行っても変え難い私の道理です。

岩井市長は全体の建設面積を縮小するとの考えをすでに示されておりますが、その考えについて具体的な提言を致します。

第一に議会棟は旧松井田の議会施設を活用すべきです。議会定数は暫時削減が進行し、安中市議会の定数は松井田の議会施設ですすでに対応できます、庁舎建設に一方で建設に協

ケート調査の結果では、建設場所としては、現在地での建替えが全体の 43.4% (1 位)、旧安中高校跡地での建替えが全体の 40.5% (2 位) と拮抗する結果となりました。

このほか、これまでの市民の皆様等のご意見や、選挙公約である「市役所新庁舎建設問題の精査」の結果を踏まえ、旧来の防災拠点センターや市民活動・多世代交流スペースの整備を盛り込んだ基本構想を改訂した上で、今回の基本計画素案を作成し、新庁舎の建設規模や事業費の圧縮を図るために、既存庁舎の有効活用を進めていく計画となっております。また、新庁舎は来庁者にやさしく親しまれる空間としながらも、調度品等は華美にならないように計画します。

松井田庁舎の利活用につきましては、新庁舎の建設規模や事業費が抑えられること、地域性に即した組織の松井田庁舎への配置が求められることなどから、今後の設計段階で様々な視点から検討してまいります。

なお、議会と執行部を離れた庁舎に配置することは利便性が低下し、行政運営にも支障を来すのではないかと考えられます。

西毛広幹道を活用したまちづくりや新駅構想につきましては、本市では地域公共交通計画の策定や、都市計画マスタープランの見直しを実施していく予定でありますので、その中で、実現可能性を具体的に検証してまいります。

新庁舎建設に関する各種調査業務や旧安中

	<p>力した議員たちに物申します。議会施設に新たな投資は必要ないと自らが提言する事、市民の中にある新庁舎建設計画に今も否定的な意見が多数ある事、多数意見の代弁者である事、襟を正して市民に向き合って頂きたい。</p> <p>庁舎の規模について、庁舎は行政の作業場所、このことを忘れないでください、各種複合施設を提言する人も居る事と思われませんが、仕事する場所としての必要な空間、市民の訪問時の一定の良好な空間づくりは必要なものですが、市長室やそれに付随する施設は空間や調度品など華美にならない様自制してください。</p> <p>安中市の未来設計図は、高齢化と少子化、人口減少は努力の限度をはるかに超えて迫ってきます。</p> <p>昭和 22 年生まれが後期高齢者の仲間入り、10 年すると 85 才、この現実を何時も直視して、夢を膨らますような過度の市政設計は行わない事、</p> <p>西毛広幹道に過剰な期待と開発計画を上塗りしない事。富岡市が世界遺産に市の未来を賭けた現状が世界遺産のために一般財源を支出する様をよく見届けてください。新たな開発は新たな過疎を生むそのことを肝に銘じてください。</p> <p>新安中駅構想が話題になりました、在来線鉄道は採算の取れない事業、10 年以上も先の計画に安中市の未来を託すには心配が一杯、駅も線路も自治体負担、鉄道の赤字は自治体に応分の負担が求められ、全国で鉄道廃止、経費の掛からないバス路線化が進む中で、10 年も先の計画は慎重の上に慎重を期してください、他の自治体と異なって安中市だけが発展するなどと言うことは考えないでください。</p> <p>未来設計図は若い世代に軸足を置いて立ててください。</p> <p>庁舎建設について富岡市の市庁舎は人気がありません、高名な設計者の手に雇った者だと聞いています。</p> <p>安中市の庁舎の建設について要望します、全国に設計者及び工事施行者を応募させるのではなく、地元広くても県内規模で施行者を選定して頂きたい、経費の節約と地元産業のさきやかではあっても確実な経済振興となるでしょう。</p>	<p>高校校舎等の解体においては県内事業者、地元事業者が受注している業務もございしますが、今後の事業においても、地元事業者等の参入機会が得られるよう検討してまいります。</p>	
31	<p>少子化が進み市の人口が急激に減少していく中で、行政事務を行うだけの市役所に多額の税金を使うべきではない。合併特例債を使ってもそれ以外は負債となり将来市民が負担することになる。</p>	<p>現在の本庁舎のうち、旧庁舎及び中庁舎は耐震性が低く、危険な状態にあります。そのような中で、新庁舎建設につきましては、市民懇談</p>	<p>原案どおり</p>

	<p>国からは消費税も上げるという話も聞こえてくる。物価は上がり、年金は下がり給料も上がらない。市民の生活は大変厳しく将来の展望も暗い。そういう中で貴重な税金を新庁舎建設に使うのか。考えられないことだ。やめてもらいたい。</p> <p>現在ある松井田庁舎や谷津庁舎を十二分に活用して、費用を極力抑えるべきだ。</p> <p>立派な庁舎ができた。が、しかし市民は、日々生涯にわたって貧しく苦しい。というのでは困る。先々「誰があんなものを作ったんだ」と言われかねない。</p> <p>市民本位の庁舎建設を望む</p>	<p>会、市議会のご意見、住民アンケート調査の結果などを踏まえ、来庁者や職員の安全確保などを含め様々に検討した上で決定しました。</p> <p>建設に当たっての事業費につきましては、建設規模の圧縮や有利な財政措置のある合併特例債の活用など、可能な限り本市の財政負担の軽減が図れるよう努めてまいります。</p>	
32	<p>【11. 新庁舎建設後における他庁舎等の活用（2）既存庁舎の利活用についての意見】</p> <p>素案37頁（2）に『敷地が確保されれば、西毛広幹道の開通にともなう交通量の増加を見越し、近隣商業施設との相乗効果を図った商業施設のモール化を行うなど、現庁舎周辺の賑わいの創出を検討することが可能です。この場合、現在地の売却や貸し付けにより、収入の確保を図ることも期待ができます。』と書かれています。しかし、現在地のこの場所は、広報あんなか令和3年12月1日号5頁では『※西毛広幹道開通後、交通量の増加により右折困難』と書かれており、安高跡地への移転理由の一つにもなっていました。車両の出入りが比較的少ない市役所であれば渋滞は発生しませんが、車の出入りが多い集客施設になどしたら右折で出入りする車で広域幹線道路に渋滞を発生させることとなります。また、第1種住居地域で市役所周辺は住宅地ですので集客施設の喧騒は住民の迷惑になります。市役所現在地の集客施設化に反対します。</p> <p>また、「現在地の売却や貸し付けにより、収入の確保を図る」とありますが、安中市の財産を勝算も無しに安易に売却することには反対します。売却しなければ市庁舎建設の事業費が足りないのであれば、建設場所を変更して費用を節約すべきです。現在地に建設すれば安高跡地に建設するよりも20億円以上節約できるはずです。</p>	<p>具体的な現在の本庁舎の跡地の利活用方法につきましては、一案として商業施設を誘致することも考えられますが、現時点において特定の考えに縛られていることはありません。市民の皆様のご意見や各種団体、企業のニーズなどを伺いながら、検討を進めてまいります。</p> <p>西毛広幹道の開通に伴う交通量の増加による渋滞の可能性は否定できませんが、国道18号から旧道までの間の車道の幅員は9メートルの計画となっているため、右折帯は十分に確保できる幅となっております。右折車は敷地の南側からしか進入できないようにするなど工夫が必要と思われますが、警察や県安中土木事務所等の関係機関と協議してまいりたいと考えております。</p> <p>また、新庁舎建設の事業費につきましては、近年の建設物価の上昇などの状況を見極めながら随時精査する必要がありますが、現時点におきましては、旧安中高校跡地と現在地とでは、有利な財政措置のある合併特例債の活用を目指すことができる旧安中高校跡地で新庁舎</p>	原案どおり

		を建設する場合の方が、実質負担額を抑えることができると考えております。	
33	<p>安中市は、この問題で市民アンケートの結果、現在地での建て替えを求める市民がもっと多かったにもかかわらず、当初から安中高校跡地を前提として議論をしてきました。安中市は、遺憾なことに、議会への説明や住民説明会においても、メリット・デメリットの評価を公正に行わないまま、安高跡地ありきの提案を前面に押し出し、新市長公約の「精査」業務すら捻じ曲げて結果を安高跡地に誘導しました。前市長が始めた基本計画策定市民会議に至っては、18名のメンバーのうち一般公募市民が僅か3名というのに「市民」会議と称しつつ、新市長就任後に開催された最後の第4回会議の終わりに議長が「この市民会議は、冒頭から安高跡地移転の場合しか、議論の対象にしてはならないという縛りのもとで実施せざるを得なかった」との趣旨の感想を述べたほど、自由な討議からは程遠い足かせがはめられていました。</p> <p>よって、市民の主論を異論として排除した安中市は、そもそも偽りのパブリックコメントなど実施する資格はありません。まず、このことを冒頭に私の意見として示します。</p> <p>しかし安中市は、パブリックコメント手続制度について「この制度は、立案する政策の内容や趣旨を公表して市民等から意見を求め、提出された意見を踏まえて意思決定を行うとともに、提出された意見の概要及び提出された意見に対する市の考え方等を公表する一連の手続をいいます」（下線は意見提出者）と定義付けています。</p> <p>そこで、今回の市役所移転建替えについて、地方自治法に定める最小の経費で最大の効果を念頭に行わなければならない事業の進め方について、安中市の施策をことごとくこれに违背していることを意見としてお示しするために、9月18日に添付の文書を広く配布しました。その中に私の意見を示してあります。</p> <p>また、私が住民説明会でも申し上げましたとおり、原資確保が最も重要です。この事業は合併特例債など、税金由来の原資ではなく、市民負担をなくし、これまでの安中市は傘下の土地開発公社が、元職員に対して、元金だけで約25億円、遅延損害金を入れると50億円近い債権を持っています。なぜ財源として、これを行わせることにより得られる債権を利活用しようとししないのか、極めて不合理です。公社事件では市民に著しい負担をかけたわけですから、今回のような市庁舎建替え事業こそ、市民の為に債権を行使することが</p>	<p>住民アンケート調査の結果では、建設場所としては、現在地での建替えが全体の43.4%（1位）、旧安中高校跡地での建替えが全体の40.5%（2位）と拮抗する結果となる中で、新庁舎建設の検討に当たりましては、安中市庁舎に関わる市民懇談会、基本計画策定市民会議では、学識経験等のある方以外は、市民の方に委員としてご協力いただきました。</p> <p>このような委員の皆様のご意見のほかにも、市民の代表である市議会からの要望や市民アンケート結果等を尊重しながら、「市役所新庁舎建設問題の精査」の結果を踏まえて、新庁舎建設基本構想を改訂し、今般、基本計画素案の作成に至っております。</p> <p>新庁舎建設の精査においては住民説明会を開催し、ご説明と質疑応答をさせていただいたところですが、今回のパブリックコメントに限定せずに、今後も基本計画策定に至った際には住民説明会の開催を予定するほか、引き続き市民の皆様へのご説明の場、ご意見を伺う場を設定していけるよう努めてまいります。</p> <p>建設に当たっての事業費につきましては、建設規模の圧縮や有利な財政措置のある合併特例債の活用など、可能な限り本市の財政負担の軽減が図れるよう努めてまいります。</p>	原案どおり

	<p>最優先されなければならないはずです。 それでもなお、無用な血税を投入するのであれば、住民監査請求で事業の可否を問わざるを得ないと考えます。 市民の声をもっと大事に扱う行政を、心から望みます。</p> <p style="text-align: right;">以上</p> <p>意見文書：9月18日発表の「現在の新庁舎の価値を考えてみましょう」B4判両面印刷</p>		
34	<p>子供が通学する路なので、集客施設はイヤです。 安全対策をきちんととって下さい。</p>	<p>現在地の利活用方法につきましては、貴見のとおり、歩行者等の安全確保を十分に考慮するほか、現時点において特定の考えに縛られることなく、市民の皆様のご意見や各種団体、企業のニーズなどを伺いながら、安全対策を心掛け、検討を進めてまいります。</p>	原案どおり
35	新庁舎建設反対	<p>現在の本庁舎のうち、旧庁舎及び中庁舎は耐震性が低く、危険な状態にあります。そのような中で、新庁舎建設につきましては、市民懇談会、市議会のご意見、住民アンケート調査の結果などを踏まえ、来庁者や職員の安全確保などを含め様々に検討した上で決定しました。</p> <p>建設に当たっての事業費につきましては、建設規模の圧縮や有利な財政措置のある合併特例債の活用など、可能な限り本市の財政負担の軽減が図れるよう努めてまいります。</p>	原案どおり
36	反対		
37	新庁舎建設反対		
38	新庁舎建設反対		
39	<p>新庁舎はいらないです。 むだ使いです。</p>		
40	新庁舎建設反対		
41	<p>新庁舎を全て壊して、旧安中高校跡地に全て移動する事に反対です。 新庁舎は、未だ、21年しか経っていません。 何て無駄使いなのでしょう！ 現在、まだ新しく明るい使いやすい建物です。 市は、建設時、その後の事は、何も考えていなかったのでしょうか？ 集落施設建築予想とありますが、近隣住民は、市役所の方が、静かな生活が送れると思ひ</p>	<p>現在地の既存の新庁舎部分は、活用を検討しております。既存の新庁舎を活かしながら、現在地にてまとまった敷地を確保することで、西毛広幹道の開通にともなう交通量の増加を見越し近隣商業施設との相乗効果を図った商業施設のモール化や公園、文化活動の場、市民参</p>	原案どおり

	<p>ます。</p>	<p>加型のイベント広場として整備を行うなど、現庁舎周辺の賑わいの創出を検討することが可能となるほか、商業施設のモール化等を行う場合には、現在地の売却や貸し付けにより、収入の確保を図ることも期待ができるものと考えております。</p> <p>いずれにしましても、現在地の利活用方法につきましては、現時点において特定の考えに縛られることなく、市民の皆様のご意見や各種団体、企業のニーズなどを伺いながら、検討を進めてまいります。</p>	
42	<p>財政がひっ迫している中での 50 億円近い巨額の金の支出は認められません。オリンピックの不正でも箱物行政は、もうやめるべき。人口減少、高齢者が約 3 割、安心、安全な住みやすい街作りをすすめるために、何を優先すべきか？道路事情の悪化、下水道の劣悪さ、町全体が汚れて、草はぼうぼう。パブリックサーバントである立場を考え、中身のある市民サービスの向上を最優先すべきで、ハードウェアの外ばかりに力点を置くのは間違い！先々、ソフトサービス（市民）を大切に！</p>	<p>現在の本庁舎のうち、旧庁舎及び中庁舎は耐震性が低く、危険な状態にあります。そのような中で、新庁舎建設につきましては、市民懇談会、市議会のご意見、住民アンケート調査の結果などを踏まえ、来庁者や職員の安全確保などを含め様々に検討した上で決定しました。</p> <p>建設に当たっての事業費につきましては、建設規模の圧縮や有利な財政措置のある合併特例債の活用など、可能な限り本市の財政負担の軽減を図れるよう努めてまいります。</p>	原案どおり
43	<p>今まずやるべき事は、耐震不足の旧庁舎に席を置く職員又、来訪者の安全を図る事だと思います。不便になるのは仕方ありません。人命第一ですから。早期にどこかに移転すべきと思います。</p> <p>新庁舎を安高跡地に建てる事は賛成しかねますが、建てる事になるのであれば、極力床面積を抑え建設パターン⑧が良いと思います。人口減少が進む中では、後々、万が一にも市民に経済的負担が増えない様に、精査・計画するのが、今、行政のやるべき事と思います。合併特例債については、“使わなければ損”というものではないと思います。借金は借金で</p>	<p>貴見のとおり現在の本庁舎のうち、旧庁舎及び中庁舎は耐震性が低く、危険な状態にある中で、新庁舎の完成は令和 8 年 3 月末を予定し残り 3 年半程度と目前に控えております。</p> <p>建設に当たっての事業費につきましては、貴見のとおり建設規模を圧縮することや、有利な財政措置のある合併特例債の活用など、可能な</p>	原案どおり

<p>すから、借りないに、こした事はないでしょう。借りるとしても、できるだけ抑えて借りるべきです。</p> <p>市有施設の活用も必要と思います。市であげているいくつかの施設はもちろんです、そこに松井田庁舎の議場があげられていないのは何故でしょうか？あの立派な議場を物置きにしておくのはどんな了見なのでしょうか？議員方々の不便は分かりますが、なんとか工夫して、松井田庁舎の議場を使って下さい。その分、床面積も抑えられます。</p> <p>新庁舎を安高跡地に建てるとしたら、近隣の道の整備等さらに費用がふくらみますね。近隣の人々の居宅の移動や移転とかの問題は発生しないのでしょうか？その辺は地元の説明会で、みなさん納得していらっしゃるのでしょうか？この辺の経緯を聞かせて頂きたいです。</p>	<p>限り本市の財政負担の軽減が図れるよう努めてまいります。</p> <p>松井田庁舎の利活用につきましては、新庁舎の建設規模や事業費が抑えられること、地域性に即した組織の松井田庁舎への配置が求められることなどから、今後の設計段階で様々な視点から検討してまいります。</p> <p>なお、議会と執行部を離れた庁舎に配置することは利便性が低下し、行政運営にも支障を来すのではないかと考えられます。</p> <p>新庁舎周辺の道路につきましては、ある程度拡幅する必要があると認識しております。近隣住民の方の住居や土地には影響が出ないような方法での拡幅を検討した上で、近隣住民の方に説明してまいります。</p>	
---	--	--

【問合せ】

安中市役所企画経営部資産活用課庁舎建設室

電話：027-382-1111（内線 1056・1057）

Eメール：chosha@city.annaka.lg.jp